



狛江市民まつり 川口の女みこしに人気

第41回狛江市民まつりが11月12日目に狛江第一小学校、狛江市役所、市民グラウンド、一小通り、本町通りなどで催され、約74,000人でにぎわった。

人気を呼んだのが、新潟県長岡市川口地域とのふるさと友好都市締結30周年を記念して川口地域から参加した女みこしと津軽三味線の堀沢ファミリー。35人の女性が威勢のいいかけ声をあげて本町通りを練り歩く川口の女みこしには、沿道の市民から大きな声援が送られていた。また、一小の

会場では狛江のみこしも一緒に担ぐなど交流を深めていた。一小のふるさとステージでは堀沢ファミリーが、ニューヨークのカーネギーホールでも演奏したという津軽三味線を披露、見事なバチさばきと唄に聴衆から大きな拍手が送られていた。

地区対抗45人リレー 駒井町地区が3連覇

地区対抗45人リレーが11月3日缶に市民グラウンドで行われ、駒井町地区が3連覇を果たした。

市内11の地区から子どもから高齢者まで45人で編成したチームと市役所チームがオープン参加、健脚とチームワークを競い合っ

た。レースの結果、駒井町地区が優勝、2位西野川地区、3位猪方地区だった。「応援が一番素晴らしかった地区賞」は東野川地区に贈られた。

アマチュア人形劇連絡会 2・3日にさよなら公演

第30回KAPAさよなら人形劇合同公演が2日午後2時と3日午前10時30分に中央公民館で催される。

主催する狛江アマチュア人形劇連絡会(KAPA)は、昭和63年に4団体で結成、同年から毎年公演を続け、一時5団体に増えた。現在は「ポッポ」「ぶんぶん」「スープ」の3団体が加盟しているが、30回を機に区切りを付けることにし



3連覇を果たした駒井町地区

たもので、各団体のメンバーたちは「毎年定員いっぱいになるので、今回は2日間に公演を増やしました」「最後なので精一杯演じたいです」と話している。

当日は「はなのあなのはなし」「ぞうのはなはなぜながい」「ねずみのむことり」などを上演、2年前に退会した「ナンビ」が総合司会を務める。両日と



仮装して集まったハロウィーンの参加者たち

初詣 伊豆美神社(中和泉3-21-8) 1月1日午前0時から3時頃、10時から午後4時頃まで神酒を振る舞うほか御神矢(数に限りあり)、幸福土鈴、幸福熊手などを授与。1日午前10時からおみくじを披露。小足立八幡神社(西野川2-33-1) 1月1日午前0時から2時頃まで神酒と甘酒を振る舞う。子之権現三島神社(西野川1-17-8) 31日午後11時頃から1月1日午前2時頃まで甘酒を振る舞う。

も演目は同じで定員は各200人。入場無料だが、事前に配布する入場整理券が必要。

問い合わせ☎3488-4411 中央公民館。

『こまなび電子版』更新は22日までに

狛江市は、市内の生涯学習団体の情報をまとめた生涯学習ガイドブック『こまなび』の平成29年度版を2月に発行する。冊子はインターネット版の『こまなび電子版』の情報を収録するもので、サイトの掲載情報に変更がある団体は22日缶までにデータを訂正するよう、担当の地域活性化課では呼びかけている。

岩戸町会がハロウィーン 親子約300人がパレード

ハロウィーンスタンパラリーが10月28日缶に催され、雨にも関わらず仮装した親子など約300人が二の橋通り付近の商店などを回り、お菓子をもらって喜んでた。

岩戸町会(進藤実会長)福祉文化部が企画し、二の橋通り商店会の有志12店の協力で開催したもので、ことしで2回目。

狛江市商工会の商店宅配事業

主婦や高齢者に人気

28の店舗・事業所が品物やサービス届ける

狛江市商工会の「商店宅配事業」が、だれでも簡単・気軽に安心して利用できる多くの市民から好評だ。

消費者へのサービス向上と、お店と顧客とのコミュニケーション促進などを目的に平成13年から始まった事業で、現在、市内の28の商店や事業所が参加、商品を配達するだけでなく、さまざまなサービスを提供している。

利用にあたっては、下表の登録店に商品名(サービス名)と数量、配達希望時間、住所を電話やファックスで注文する

だけでよく、だれでも簡単に利用できる。

「以前は小さい子を連れて買い物に出かけるのに苦労していましたが、いまでは必要な物を届けてもらえるのでうれしい」という子育て中のママや「重い荷物を自宅まで運ばなくてもいいのでとても助かります」という高齢者に好評だ。「ネットショッピングと違って、お店の人の顔が見られるので安心」という声も寄せられている。また、商工会の地域コミュニティサイト「コマエリア」(http://www.komaeria.com/)でも、登録店を紹介し

ており、若い人の利用も増えているという。

登録店のひとつ、五味食料品店(猪方3-29-6)は、店主の五味精次さんと妻の敏子



五味さんから品物を受け取る石谷さん

さんが昭和38年の開業以来、半世紀以上にわたって乾物を中心に食料品を販売。なかでも長年の経験で選んだ昆布、かつお節、のり、豆類など和食に欠かせない商品を置いているのが特色。顧客の利便性を考えて、店舗は年中無休で営業するほか、週2回は車に

商品を積んで近隣の住宅地を回って移動販売を行うとともに、配達にも力を入れている。

30年以上前から同店の移動販売を利用している岩戸南3丁目の石谷昌子さんは「近くに商店が少ないので、いつも利用しています。良質な品物がそろっているので、安心して買えます。いまでは世間話もできる間柄になりました」と話すとともに「調味料や乾物などが切れた時には宅配も利用していて、すごく助かっています」と喜んでいる。

蕎麦打ち教室

「元祖 蕎麦打ち迷人会」(神原章造代表)が10日午後2時から岩戸地域センター調理室でそば打ち教室を開く。



上和泉地域センターのそば打ち教室

同会は、神原さんら世田谷区喜多見のスポーツクラブに通っていた男性たちが、退職後の趣味としてそば打ちを始めようと集まり、平成15年に15人で発足した。「蕎麦打ちの男のロマン、飽く事なき探求心と迷いこそ青春の証」をモットーに、テレビ番組のビデオなどを参考に岩戸地域センターで技術を磨いた。数年後からは仲間を広げるため、そば打ち教室を月2回開催、参加者が入会するなどして、現在の会員は女性も含め30人以上になった。依頼を受けて上和泉地域センターなどで教室を開いたり、高齢者の施設などで実演をするなど、「手打ち蕎麦の郷—狛江」をめざして活動を続けている。

教室では、会員の指導を受けながらそばのこね方から伸ばし方、切り方などを体験、ゆで方などの説明を受けて試食する。定員は10人で、手ぬぐい、前掛け、自分で打ったそばを持ち帰る容器を持参する。参加費は材料費2,000円。

申し込み・問い合わせ☎080-1282-8166または Msn.kambara@jcom.home.ne.jp 神原さん。

スポーツ

Table with 3 columns: 品目 (Category), 店名 (Store Name), 定休日/受付時間 (Closed days/Service hours). Lists 28 participating shops and their details.

Table with 3 columns: 品目 (Category), 店名 (Store Name), 定休日/受付時間 (Closed days/Service hours). Lists 28 participating shops and their details.

※年末年始の休みは各店舗にご確認ください※市外の受付や配達を行っている店もあります。配達条件を満たせば配達料は無料です。